

2022年度 日本工学院専門学校											
ミュージックアーティスト科／ヴォーカリストコース											
音楽基礎A 3											
対象	2 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	田熊 知存			実務 経験	有	職種	アレンジャー				
担当教員紹介											
田熊知存 / 幼少の頃からエレクトーン・Jazzピアノを習い、コンクールで優秀な成績を収める。様々なアーティストのサポート演奏や楽曲提供を手がけており、幼い頃に影響を受けたDisney音楽のような歌心がありファンタジックな曲の制作を得意とする。											
授業概要											
1 年次で学習した理論を既存曲の中に見つけ出すことができ、また自身のオリジナル作品にもそれを適切に反映させることが出来る、あるいは最低限それらの使い所がわかるようにする。											
到達目標											
ミュージシャンとして仕事をするにあたって必要最低限の理論、音楽用語は身に付ける。オリジナルを歌いたい学生には作曲に必要な理論と感覚をうまく使えるようになることを目標にする。											
授業方法											
オンデマンド2回→対面授業を設け、分からないところをフォローするためにもこの3回のローテーションを行っていく。対面授業の前にあらかじめ質問を提出させ、質問数が多いトピックから取り上げて、それを解説、確認できるような時間を作る。											
成績評価方法											
試験・課題	70%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価									
成果発表	20%	授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価									
平常点	10%	積極的な姿勢									
履修上の注意											
学生が何を目標しているか、何の楽器を使っているかによって必要となる理論も多少変わってくる。そういった個人状況も把握した上で授業を進めていきたい。											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	1年時の内容を理解できているか、復習とテスト										
第2回	転調について										
第3回	作曲における転調とその理解										
第4回	ここまでの復習とテスト										
第5回	既存楽曲のアナライズ方法										

2022年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科／ヴォーカリストコース	
音楽基礎A 3	
第6回	既存楽曲から様々な理論を分析する
第7回	ここまでの復習とテスト
第8回	スケールと調号のかかわり方
第9回	チャーチモードに触れる
第10回	ここまでの復習とテスト
第11回	メロディの作り方、スケールとの関わり
第12回	作ったメロディにコード付けをする
第13回	ここまでの復習とテスト
第14回	作った曲に対し、これまで学んだトピックを反映させる
第15回	メロディーに、ハーモニーを付けてみる